

2009年9月25日

各位

会社名 株式会社 W O W O W
代表者名 代表取締役社長 和崎 信哉
(コード番号 4839 東証マザーズ)

業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 (2009) 年 5 月 15 日に公表しました平成 22 年 3 月期 (2009 年度) の第 2 四半期及び通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期 (2009 年度) 第 2 四半期業績予想の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(1) 単 体

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当り 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表数値(A)	31,300	3,200	3,500	2,100	14,560.89
今回修正数値(B)	30,900	3,800	4,100	2,900	20,107.89
増減額(B-A)	△ 400	600	600	800	—
増減率(%)	△ 1.3%	18.8%	17.1%	38.1%	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	31,246	1,307	1,782	1,073	7,444.05

(2) 連 結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当り 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表数値(A)	33,100	3,400	3,400	1,900	13,174.13
今回修正数値(B)	32,600	4,200	4,200	2,800	19,414.51
増減額(B-A)	△ 500	800	800	900	—
増減率(%)	△ 1.5%	23.5%	23.5%	47.4%	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	33,361	2,004	2,246	1,215	8,425.46

2. 平成22年3月期（2009年度）通期業績予想の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(1) 単 体

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表数値(A)	62,800	4,000	4,200	2,500	17,334.39
今回修正数値(B)	62,300	4,500	4,700	3,200	22,188.02
増 減 額(B-A)	△ 500	500	500	700	—
増 減 率(%)	△ 0.8%	12.5%	11.9%	28.0%	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	62,798	2,489	3,015	2,432	16,863.66

(2) 連 結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表数値(A)	66,300	4,700	4,700	2,700	18,721.14
今回修正数値(B)	65,700	5,200	5,100	3,300	22,881.39
増 減 額(B-A)	△ 600	500	400	600	—
増 減 率(%)	△ 0.9%	10.6%	8.5%	22.2%	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	66,924	4,018	4,347	3,051	21,159.71

3. 修正の理由

(1) 第2四半期

[単 体]

売上高につきましては、デジタルへの移行策強化によるキャンペーン値引き等の増加による視聴料収入の減少等により、前回予想より減少する見込みです。一方、営業利益及び経常利益につきましては、番組費等の費用の一部を第3四半期以降へ繰り越したことや為替レートが想定より円高に推移していることによる番組費の減少及び効率的投下による費用の減少等により、前回予想を上回る見込みです。また、四半期純利益につきましても、法人税等の減少等により、前回予想を上回る見込みです。

[連 結]

単体と同様の理由に加え、売上高につきましては、連結子会社でテレマーケティング事業を行っております株式会社WOWOWコミュニケーションズにおける請負業務の受注が想定より減少したことにより、前回予想より減少する見込みです。一方、営業利益、経常利益及び四半期純利益につきましては、同社において、費用の一部を第3四半期以降へ繰り越したことによる費用の減少等により、前回予想を上回る見込みです。

(2)通 期

〔単 体〕

売上高につきましては、第2四半期と同様の理由により、前回予想より減少する見込みです。一方、営業利益及び経常利益につきましては、為替レートが想定より円高に推移していることによる番組費の減少及び効率的投下による費用の減少等により、前回予想を上回る見込みです。また、当期純利益につきましても、法人税等の減少等により、前回予想を上回る見込みです。なお、期末累計正味加入件数は、前回予想通り 2,486 千件を見込んでおります。

〔連 結〕

第2四半期と同様の理由により、売上高につきましては、前回予想より減少する見込みです。一方、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては、単体の通期と同様の理由により、前回予想を上回る見込みです。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上

【問合せ先】 (マスコミ関係) 広報部 TEL03(4330)8080
(I R関係) I R 経理部 TEL03(4330)8089